

埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

カスタムボディ科 東京オートサロン2011 出展車両製作進む



発泡ウレタンにて前部の加工中



PRIUS300C 完成イメージ

今年もカスタムボディ科で製作しているカスタムカーを、来年一月に開催される東京オートサロン2011に、二台出展する。一台目(プリウス300C)は、トヨタプリウスをベースに、クライスラー300Cへとカスタムする。日本を代表するハイブリッドカーであるプリウスが、燃費よりパワーという印象をもつアメリカ車の300Cへと変貌する。車内にはモニターやスピーカーなど

の音響設備を組み込み、LEDによる光の演出にも力を入れていく。二台目(ラムトラ・フレンドリー)は、マツダボンゴフレンドリーをベースに、ダッジラムトラックへとカスタムする。1BOX車であるボンゴフレンドリーのセカ

ンドシート以降のルーフレッドサイドガラスの下面までを大胆にカットし、トラック形状とした。その荷台部分にスピーカーやプロジェクトターを配備し、音と映像を楽しめる車両を製作している。

今回、両車共に載せるスピアカーやアンブは、アメリカKICHER製を使用。カスタムカーの世界では、トップクラスである同社より協賛していただいたことにより、例年以上に音響設備に力を入れることができる。

学生たちは、やるべき事を自ら判断、実践し、授業中はもちろん放課後も夜遅くまで作業を行っている。完成披露は、来年一月十四日(金)から十六日(日)まで、千葉幕張メッセで開催される東京オートサロン2011で。

学生サークルのクラシックカークラブの学生八人が、一九八八年モデルのシボレー490で、十一月十日、幸手クラシックカーフェスティバルに参加した。この催しは、今年で十五回となる歴史のあるもので、県内では最大級。昭和に生産された国内外の車両に生産された国内外の車両百七十台余りが、幸手市ひばりヶ丘球場に集まった。本校は、四度目の参加。開

会式では、町田英夫幸手市長が挨拶しその後、車両展示、パレード、車両コンテストと来場者を楽しませた。本校が出品した車両は、過去に車体整備科で苦労してレストアした物で、フォードT型と並んで歴史的にも有名な車。参加した学生は、来場者に車両の歴史や構造説明をしてクラシックカーの魅力や、他の車両を見学して見聞を広め、日頃見ることが出来ない貴重な車両もあり、とても感動した様子。先端技術を学ぶ学生が、車の歴史であるクラシックカーにも興味を持つことで温故知新となり、また車両の所有者から物を大切にすることを学ぶ有意義な日となった。

モータースポーツ科 もてぎチャンピオンカップ レースシリーズ5位



ドライバーの須田とメカニックの堀

レースシリーズ5位

れていたが、残念ながら二回目の走行でミッショントラブルが発生し思うような走行ができず、修復に時間を費やした。予選では、練習走行が少なかった影響もあり、思うようなタイムを残すことができなかった。決勝では、攻めの走り一時は五番手に順位を上げたが、痛恨のシフトミスで順位を一つ落とし、六位でチェッカーフラッグをうけた。

十一月七日、もてぎチャンピオンカップレース最終戦が開催され、モータースポーツ科二年生の須田真二がインテグラで出場し、六位入賞を果たした。レースウィークの土曜は参加者専用の練習走行日。三十分の走行が三本予定さ

れた。今年度ドライバーの須田真二は、第二戦でレースデビューした。同日鈴鹿サーキットで開催された「シビックインターシリーズ」の最終戦に本校モータースポーツ科がメカニックとして参戦してきたモータースポーツ科の学生たちの活躍も光ったシーズンであった。

の末、優勝でシーズン四勝目を、トップポイントで終った。伊藤選手は、このレースをリタイヤしてしましシリーズ十位となった。三月から全国を転戦してきたシビックインターシリーズで、メカニックとして参戦してきたモータースポーツ科の学生たちの活躍も光ったシーズンであった。



メンテナンス担当学生と優勝した谷口選手



電気自動車研修 三菱 i-MiEV 技術講演試乗会

本校テストコースでの試乗。また、講演後は、本校テストコースにて、電気自動車三菱アイミーブ三台を使用したの試乗が行われた。走行中の排ガスがゼロ、エンジン音のない車に、や戸惑いながらもスムーズな加速を体感し、電気自動車の魅力をあらためて実感した。

電気自動車技術研修を十二月六日、佐藤由江初代校長記念館で学生と職員を対象に、関東三菱自動車販売(株)より八名の講師を招いて実施した。講演では、学生の関心の高い技術的な内容も多く、質疑応答では学生から多くの質問が出された。



記念館で行なわれた講演会

本校でも今回の技術研修をはじめ、先月さいたまスーパーアリーナで行われた電気自動車講演会にも多くの職員が参加した。また、今後、多くのメーカーからのハイブリッドカーや電気自動車の普及と共に、自動車整備の内容も変化しつつある中、授業に多くのハイブリッド車両を導入し対応している。



パテにて外板パネル成形中



RAMTRUCK FRIENDEE 完成イメージ

学生たちは、やるべき事を自ら判断、実践し、授業中はもちろん放課後も夜遅くまで作業を行っている。完成披露は、来年一月十四日(金)から十六日(日)まで、千葉幕張メッセで開催される東京オートサロン2011で。

指定校推薦・学校推薦・一般
入学願書受け付け中!

二輪車体験入学
第4回入試 **12月18日(土)**
見学会・保護者説明会随時可

詳しくは 埼玉自動車大学校 検索
申込先 048-723-5522

更に充実
全実習場冷暖房完備

本格的な冬を迎える前に、この度、本校の五棟の実習場全てに冷暖房設備が完備された。これで、教室と併せ全館冷暖房完備となり、日本でも有数の長い歴史と伝統を持つすばらしい設備の整った自動車大学校となった。快適な環境のもとで、しっかりと実習授業を行い、立派な整備士を育てたいという理想のもと、創立五十周年記念事業の一環として、本校親交会からも協力力をいただき実現した。

クラシックカーフェスティバル参加

学生サークルのクラシックカークラブの学生八人が、一九八八年モデルのシボレー490で、十一月十日、幸手クラシックカーフェスティバルに参加した。この催しは、今年で十五回となる歴史のあるもので、県内では最大級。昭和に生産された国内外の車両に生産された国内外の車両百七十台余りが、幸手市ひばりヶ丘球場に集まった。本校は、四度目の参加。開

会式では、町田英夫幸手市長が挨拶しその後、車両展示、パレード、車両コンテストと来場者を楽しませた。本校が出品した車両は、過去に車体整備科で苦労してレストアした物で、フォードT型と並んで歴史的にも有名な車。参加した学生は、来場者に車両の歴史や構造説明をしてクラシックカーの魅力や、他の車両を見学して見聞を広め、日頃見ることが出来ない貴重な車両もあり、とても感動した様子。先端技術を学ぶ学生が、車の歴史であるクラシックカーにも興味を持つことで温故知新となり、また車両の所有者から物を大切にすることを学ぶ有意義な日となった。

みなさまの毎日の暮らし、応援します

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社

〒330-0062 埼玉県さいたま市大宮区東町2-20
三井住友海上大宮東町ビル4階
TEL:048-644-5425
FAX:048-644-5447
http://www.ms-ins.com

群馬銀行
大宮支店

さいたま市大宮区下町二丁目一
TEL:048-644-1851

民間車検場
有限双葉自動車工場

所沢市上新井九八〇-11
TEL:04-924-1335

CocoTerrace

ココテラス伊奈店
二ニューシャトル志久駅前
048(721)5922

アパート・マンションのご相談
不動産の売却・購入などは

Answer for you TOYOPET

走り出す、一歩先の未来へ。

PRIOUS

埼玉トヨペット 本社/さいたま市中央区上落合2-2-1
ホームページアドレス 埼玉トヨペット 検索
http://www.saitama-toyopet.co.jp

0120-319231

MAZDA NEW MAZDA アクセラ

マツダ独自のアイドリングストップ機構「i-stop」搭載。

埼玉マツダ 〒331-8543 さいたま市大宮区桜木町4-345
TEL 048-641-3730 FAX 048-642-5628
ホームページアドレス http://www.mazda-saitama.co.jp/